

みんなねっと 福井県かれん新聞 第94号 (奇数月 発行)

事務局 ホットサポートふくい内〒910-0026 福井市光陽2-3-36

福井県総合福祉相談所内 TEL 0776-24-5135

1) みんなねっと福井けんかれん 2022年 9月1日

\* 障がいのをりこえるために



もくじ

- ・ 県家族会研修会について . . . (1)
- ・ 講演会 (夏莉氏) についてなど . . . (2)
- ・ お知らせ・県家連のホームページ . . . (3)
- ・ 県への要望書について . . . (4)

福井県精神保健福祉家族会連合会 研修会

スローガン 「誰もが安心して住み続けられる社会をめざして！」

日時:10月22日(土) 会場:福井県自治会館

10時～ 講演会

テーマ「働いて、社会参加する」

講師:爲國正芳氏 (スタンドトゥギアザー代表)



■プロフィール 爲國 正芳 (ためくに まさよし)

1974 年生まれ 株式会社スタンドトゥギアザー 代表取締役。

前進主義ふくい (A 型・B 型) 管理者・サービス管理責任者

\* 行政書士として全国約 40 か所で障害福祉サービス事業所の設立支援を約 2 年間行う。

その後、2013 年に株式会社スタンドトゥギアザーを設立、障がい者の就労支援サービス事業所「前進主義」を福井県内 7 か所に展開。>

分科会 13 時～ テーマ 助言者

第一分科会 地域での本人の回復・自立と家族支援 川口めぐみ氏

(福井大学医学部看護学科教員)

第二分科会 高齢化80・50問題と家族会の活性 高嶋裕美氏

(福井県立病院デーケア長)

16 時終了

\* みんなねっと誌 購読 しましょう! 例会などで活用を!

\* 「けんかれん新聞」に原稿や意見・質問などの投稿を！

2) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2022年 9月1日

> 前進主義では、デザインやホームページ制作、申請書作成など専門技術を活用した業務から、データ入力や軽作業など働き方のトレーニング効果を重視した業務まで、事業所を利用する障がい者の意思、能力に応じた業務内容／作業環境を提供（就労継続支援 A 型、B 型）しているほか、一般企業に就職するための訓練や、就職後の定着支援（就労移行支援、就労定着支援）を行っている。

会議など

7月19日（火）第1回福井県障がい者社会参加推進協議会 会長出席

\* 家族会例会をしましょう。集まって話合うのが健康にもいいです。

\* 電話、スマホも利用できます。

\* {みんなねっと誌} を読みましょう。

3) みんなねっと 福井県か連新聞 2022年 9月1日

お知らせ

\* 県家連のホームページができました。

スマホからも見れます。

\* 全国大会（広島大会）10月13日（木）、14日（金） オンライン併用

4) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2022年 9月1日

福井県知事への精神保健福祉施策の充実に関する要望書

- 1 各地域家族会の育成促進、本人の回復を援助している家族に経済的、社会的な支援をしていただきたい。本人の居場所づくりを支援してください。
- 2 精神保健福祉センターに、常勤医師を配置していただきたい。
- 3 精神緊急時の病院への移送の体制を充実していただきたい。

- 4 医療向上のため、クリニックに、医師以外で患者と相談ができる人員を配置して、診療時の患者の相談活動を充実するように措置していただきたい。
- 5
  - ① 精神の手帳保持者は他の障害の手帳保持者の保障と比べて劣っています。3障害の手帳所持者に対する保障を、少なくとも同等にするよう国に要望していただきたい。JR運賃割引適用など。
  - ② 精神科特例により、医師、看護師など劣悪な状況にある制度を他の診療科並みにするよう国に要望していただきたい。
  - ③ 自動車税・自動車取得税などの減免を、2級・3級まで適用するよう国に要望していただきたい。
  - ④ 義務教育で、精神の病気・予防について教授するよう、国に要望していただきたい。
- 6 退院促進のため住居を確保、拡充していただきたい。
- 7 入院医療費を無料にしていただきたい。
- 8 事業所に対して、利用者への対応・相談などの研修を充実して、精神障害者の自立向上を支援していただきたい。

以上